



第 66 号

発行責任者／九州バプテスト神学校
理事長／踊 一郎
編集責任／城前 和徳
事務局／
〒810-0041
福岡市中央区大名1-12-17
大名クロスガーデン内
TEL&FAX 092-985-1812

主に仕える器として



校長 城前 和徳

諸教会・伝道所に連なる皆様には、いつも九州バプテスト神学校を祈りに覚え、ご支援いただいております。感謝申し上げます。

九州バプテスト神学校が、平尾バプテスト教会・大名クロスガーデン二階の教室で活動を開始したのは、二〇一三年四月からでした。この記念する年から小生も校長に赴任しまして、新教室で新学期の活動を開始できました。今まで

の平尾バプテスト教会の皆様への厚意に心より感謝申し上げます。これからも祈りに覚えて支援していただけますようお願いいたします。

二〇二一年度は、新入生に専攻科(牧師コース・主事・信徒リーダーコース)四名、本科二名、聴講四名を新たに迎え入れてスタートをすることができました。学生一人ひとり教会より遣わされた献身者として

の学びがより豊かに遂行されますように祈りつつ、学生と講師およびスタッフが心を一つにして、教会に仕える器として、御言葉に聴きつつ、学びを深くして行きたく祈っています。

九州バプテスト神学校は、「主にあつて教会と共に、教会に仕える神学校」のもと、諸教会が活性化して、イエス・キリストの福音を宣べ伝えてゆくために、牧師、主事、信徒リーダーの養成機関としての神学校です。また、コロナウイルス感染症によって暴きだされた教会の課題、テーマを諸教会はどのように考え、今後推進して行くのか!! この課題を覚えて、宣教センター

では、諸教会と神学校が共に連携して、「信仰のイロハ」、具体的には、一人ひとりが教会を担っていけるように、「教会学校を一緒に考えてみませんか」の基礎講座——諸教会(具体的には福岡地方連合)と準備を共に企画——を実施し、共に聖書から聞いて行きたく願っています。

日本バプテスト連盟の「伝道者養成」信徒訓練」の重要な働きを担っている九州バプテスト神学校を覚えて、これまでに増してお支えくださいますようお願いすると共に、一人でも多くの信徒を神学校に送り(派遣)出してくださいますように、心からお願ひ申し上げます。御教会・伝道所の上に、主の導きと祝福がありますようにお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈りつつ

御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くて悪くても励みなさい。
(Ⅱテモテ四:二)

目次

- ★校長のことは 一頁
- ★卒業生のことば 二―三頁
- ★スクーリングへ参加しましょう 三頁
- ★宣教センターのページ 四頁
- ★後援会からのお知らせ 五―六頁
- ★新入生の紹介 七―八頁
- ★編集後記 八頁

卒業生のことば

専攻科卒業

南 雅夫

(伊丹キリスト教会)

入学当初は、学生の皆さんに「スキルや経験値の高さに圧倒され「これではいけない」と必死になって勉強していたのですが、ドライバールを削る訳にかず、五年間

の神学生生活はスケジュールをどの様に立てるかで非常に悩みました。これから在校生の皆さんは「コロナ」との戦いもあり、更に不安定な対応を迫られることもあるかと思えます。ですが、終わらない試練はありませぬ。皆さんの学びが充実したものとなりますようお祈りしています。

近藤 浩久

(和臼バプテスト教会)

卒業を感謝致します。お祈りと支援のなか学びと様々な経験をさせて頂いて、神の御心、御計画に従う器となるべく歩んできました。そして現在、和臼バプテスト教会で主が備えられる道に備え待機しています。再召命に向けての大切な準備の時と認識します。今こそ主に己自身を委ね、イザヤのように答えるのみです。「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」

本科卒業

浅川 真

(小郡カトリック教会)

卒業式ではたくさんの祝福を頂きました。紙面をお借りして感謝いたします。私は神学校の教室が鳥飼教会の時代に入学しました。入学したものの学びが進まず、途中で二年間も休学しました。正直に告白しますと、「このまま中途半端で退学してしまう

かもしれない」とも思っていました。しかし、堀内先生の「新約聖書積義に出会い、その年から単位が取得できるような変わっていききました。不思議なことでした。これまで数々のご心配・ご迷惑をお掛けした先生方、事務局の方々に感謝です。

諸隈 秀臣

(久留米荒木キリスト教会)

凄く恵みが在り、三年間有難うございました。振り返りますと、実が一杯詰まっていた、きつかったけど、とても良かったと感じます。講義とは言え、礼拝の時と同じ霊性を感じたこともしばしば在りました。感謝です。御講義頂いた先生の方々に、心より感謝致します。難産でしたが、新生です。次に向かいます。主に導かれつつ、主に身を任せます。アーメン。

武宮 陽子

(大分キリスト教会)

日頃から、神学校の理念や内容をご理解いただき、ご支援を与えてくださって

いることに、深く感謝申し上げます。私は、神様の導きにより聴講三年、本科三年の学びを経て、この度専攻科に導かれました。先生方の貴重なご講義とご指導のもと、聖書を通して語ってくださる神様のみ声を、さらに聞いてまいりたいと思っております。そして皆様のお祈りと交わりに支えられて、見える神の国である教会に仕えてまいりたいと願っています。

税所 昭二

(霊水キリスト教会)

教会が無牧師になったことが学びの始まりでした。教会を担い支えていくための訓練は牧師だけではありませぬ。役員も正しい聖書理解、教会観の理解と学びが不可欠です。信徒説教を担う立場に立たされてそのことを痛感しました。私は通信での学びでした。聖書・教会運営・役員としての学び、それらは新鮮で強烈でした。これまでの理解や自己解釈が覆され、正されていきました。信仰生活



左から近藤兄、南兄、西野兄、浅川兄、武宮姉、松本兄

の良き礎となりました。

松本 泰博

(天草中央キリスト教会)

本科三年間の学びが教会のお祈りと支え、講師の先生方、事務局の方のご指導により無事卒業できました。ことを感謝いたします。あつという間に三年が過ぎ、今年専攻科に入学いたしました。これからの二年間の学びを通して、主に用いられる信仰者の姿に変えられますようにと願っています。今の教会は若者が少なく高齢化が進み、加えてコロナ禍の中において現状を維持するのが大変であると思います。そのためには、どんな時でも喜びに溢れ、主のみ言葉に従える信仰者となれるよう日々研鑽を積みみたいと思います。

西野 修平

(北九州キリスト教会)

二〇一七年に聴講生として受け入れていただいたから、四年が過ぎました。そして、この度、本科コースを卒業することができまし

た。学びを導いて下さった主に感謝します。また、その時々でチャレンジを投げかけて下さった先生方、共に励まし合いながら学んだ仲間にも感謝の思いでいっぱいです。神学のこと、これから先の働き、自分のこと、悩むことはまだまだありますが、四年間の中で変わった自分もいます。これからの歩みも主の導きを期待して。

東 義真

(日本キリスト教会八女伝道所)

私は、一九九五年にアメリカ合衆国でクリスチャンになり、自分なりに聖書を読んできましたが、より深い学びや考察をしたいと考え、神学校に行く事にしました。私はアートや映像芸術の創作を続けており、アメリカやイギリス、そして西欧アートやメディアの中に多くの聖書的表現があることを知っていました。今後の創作活動において、作品を通してイエス・キリストを伝えられればいいなあと思っています。

二〇二一年度九州バプテスト神学校

スクーリング

今年のスクーリングは、「専攻科、本科・聴講」ともテーマは同じです。テーマ…「主と共に与かる食卓の喜び」くなぜ、礼拝を共に守るのか」

専攻科・本科・聴講

日程…九月二〇日(月)

二二日(火)

場所…

大名クロスガーデン

私たち、「教会とは」と問われたらどのようなに回答するでしょうか。ひと言で言い表すことが難しい故に、一人ひとりの理解がある意味では違うかも知れません。

ただ、共通して言えるのは、教会は私たち一人ひとりが、神に聞くという事、すなわち、神が私たち人間

に語ってくださるが故に聞くことが赦される事に基礎づけられ、保持されている。この一事において教会は教会として存在する。それ故に、そこでは、たとえば二人、三人の集まりであっても、また、二人、三人が、たとえば選り抜きの人でなくても教会は存在する。まさしく人間が「神、語り給う」ゆえに聞き、神の語り給うことを聞くというこの一事が、教会を教会としてゆくのです。人間が神に聞くという決定的な特徴を告白することによって、教会の業が多様な働きとして理解できます。

今年のスクーリングは、「教会とは」の理解を共有しつつ、ポイントとしまし

一、キリストに出会い、交わり、且つ、そこに呼び出された群れと共に交わりを造り出し、福音の現実に生きる場所としての教会の在り方を考察します。

二、教会に呼び集められた私たちが、「主日礼拝・主の晩餐式」を通しての主にある交わりについて考察します。

尚、専攻科は、説教演習を実施します。また本科・聴講は発題およびパネルディスカッション方式で行ないます。

献身が与えられている恵みの応答として、献身のたずまいを整えられていくことを願いつつ、今年のスクーリングを開催したいと祈っております。

(校長 城前和徳)

宣教センター報告

「見えなくさせられた交わりを新たに生み出す」

第七回教会形成協議会報告

松見 俊 (バプテスト東福岡教会)



第七回教会形成協議会 21.1.11

二〇二一年一月十一日(月祝)十時半〜一七時まで、平尾バプテスト教会大名クロスガーデンにて、第七回教会形成協議会が開催された。コロナウイルス感染拡大下このような集会を開催したこと自体が良かったかどうか(最初は姪浜教会での開催を考えていたが)ZOOMを導入することを検討し、事務所の対応を考え、大名クロスガーデンに会場を変更した。無理な対応に依って下さった両教会に改めて感謝する。いわゆる三密を避け、手指の消毒、検温、そして、集会后の会場の消毒など万全を尽くした。決して結果オーライではないが、二週間後の二五日時点で感染報告なしで主催者としては、胸を撫でおろしている。松見の開会礼拝説教後、主講師鈴木牧人さん(姪浜教会牧師・宣教センター委員)の、コロナウイルス感染拡大下、一人一人が被災者であるという言葉に出席者は皆共感した。人が孤立・分断化される中でストレスが他者や自らへの暴力行為に発展しかねない閉塞状況で慰めの言葉であった。さらに、教会形成に励んでおられる船越哲義さん(山鹿新生教会牧師)もご夫妻で参加され、お二人が、一人一人を大切にし、福音の分かち合いにいそまれる姿勢にも多くの共感が与えられた。宮崎宗親さん(日本バプテスト福岡城西教会)の発題に、新しい牧師が与えられた喜び、そして、無牧師時代の苦悶にも多く教えられた。さらに、伊原幹治さんの(福岡ベタニヤ村教会)の「コロナの神学」の発題は、コロナウイルス感染があまり出す教会の諸問題を示して下さった。それらの発題を受けての議論は、森崇さん(平尾教会牧師)による綿密な準備の下での素晴らしい司会の進んだ。加来陽子さんの奏楽、生花を準備して下さった方、そして、並々ならぬ事務局の努力に感謝したい。教会はまさに「三密」を目指してきたのであって、ソーシャル・ディスタ

ンスは禁じられても、それは実は、フィジカル・ディスタンス(身体的距離)が禁じられているだけであって、教会は見えなくさせられた交わりを工夫によって繋ぎ、新たに生み出すことができること、まさに、福音によって生かされるキリスト者と教会の想像力・創造力が問われていることに気付かされた。十字架につけられたお方の復活、復活させられた方は十字架の低みに下られ、教会の交わりを創設された方であることを改めて実感した。直前まで現地参加を模索して下さった安藤榮二先生、藤田英彦先生もZOOMで参加して下さり感謝している。参加者五七名(会場参加二八名、会場参加一二教会、ZOOM参加八教会、合計二十教会 併用四)九州バプテスト神学校でZOOM発信が十分可能であることが実証できたことも嬉しい。何よりも参加して下さった一人一人に感謝したい。

伝道者養成の為に
お祈りと支援をお願いします！



麦野 賦

九州バプテスト神学校後援会は、九州神学校の経営の全面的な支援と共に、奨学金制度を設けて、学生への支援活動を行っています。全国諸教会・伝道所のみなさまからの尊い献金があつて実現可能となります。最も大切な働きは、伝道献身者(牧師等)が起こされることへの祈りのうねりです。

・二〇二一年度、創立三周年を迎える九州神学校がますます使命を發揮し、伝道者養成と教会員リーダーの育成に資することができるようにお祈りとご支援をお願いいたします。

・二〇二一年度、創立三周年を迎える九州神学校がますます使命を發揮し、伝道者養成と教会員リーダーの育成に資することができるようにお祈りとご支援をお願いいたします。

- ①祈りましょう
- ②支えましょう
- ③学びましょう

Q：個人や仲間と一緒に支援したいときは？

- ・定額支援 1口年額 5,000円(振込用紙にて・何口でも感謝)
- 自由支援 随時ご支援下さい(金額は自由)
- ゆうちょ銀行・毎月自動引落し献金支援(月額500円より・毎年斬増中)
- *教会や団体からの支援も歓迎。(定額支援 1口年額 1万円・何口でも感謝)
- *各教会や団体に推進担当者を決めていただくと感謝。

(詳細は地区推進委員にお尋ねください。)

〒郵便振替口座 01730-5-21848 九州バプテスト神学校後援会(払込料送金者負担)
問合せ：美園和彦(推進委員) (Tel/携帯) 080-3975-0932
(Mail) kazu.misono.813.1@gmail.com

九州バプテスト神学校献金後援会報告

二〇二〇年四月一日～二〇二一年三月末日

二〇二〇年度

九州バプテスト神学校後援会への支援金総額

四、四五三、二九九円

昨年度も篤いお祈りとご献金をもつてお支え下さり、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

原教会

誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

〔東京地方連合〕

厳しい社会状況が続いておりますが、今年度もどうぞ神学校と神学生を支える後援会の働きをおぼえ、かわらぬお祈りとご支援を賜りますようお願いとぞよろしくお願い申し上げます。

市川八幡教会(鳥飼好男)、経堂教会、多摩みぎわ教会(教会、浅野邦夫)、東京北教会(高木健裕)、目白ヶ丘教会(小松澤一枝)

感謝して

〔神奈川地方連合〕

九州バプテスト神学校後援会

綾瀬小園教会、川崎教会(教会・中村恭宣)、静岡教会(久保田君代)、港南めぐみ教会、湘南台教会、平塚教会(長尾澄子)、横須賀長沢教会(瀬戸口早苗、前田文生)

〔北海道地方連合〕

札幌教会(堂前剛志)

〔中部地方連合〕

愛知新生教会(池山好明)、各務原教会(教会、長谷幸雄)、金沢教会、岐阜教会(田川徹、長谷正子、長谷真理子、長谷豊、梅沢雪子、藤井守、藤井桂子、河合昇、河合栄子、子安邦子)、名古屋教会(教

〔東北地方連合〕

鮎教会、三沢教会

〔北関東地方連合〕

東海教会、ふじみ野教会、宮

会、山川明美、的埜泰典、柘植絵理子)

〔関西地方連合〕

北大阪教会(木田忠慶、酒井俊一)、堺教会(兄弟会、田矢廣司、吉野英之、吉野きみ子)

〔中国・四国地方連合〕

江波教会(松藤紀年)、広島教会(石倉央、石倉かおり、菊地啓二、菊地フミエ、白坂静江、岡村ジョージ悦彌、坂井久仁江、寺見俊昭、井林敏子、久保今日子、武田由紀子、橋本博子、谷洋、山田洋子)、丸亀城東町教会、道後教会(松田裕二)、八幡浜教会

〔北九州地方連合〕

芦屋教会(教会、宮邊悦子)、飯塚教会(重岡信子、高屋和子)、大分教会(教会、壮年会、伊東健次、梅木芳昭、梅木鈴代、大友 勲、児玉 隆、坂井敏雄、坂井玲子、武宮陽子、松村 弘) 苅田教会(教会、佐藤清一、児玉尚文) 北九州教会、北九州地方連合壮年会、小倉教会、シオン山教会(田中登美子、若林英典、船津丸泰)、下関教会(教会、大平五月、平野鈴子、吉岡陽子、渡邊美恵子)、富野教会(黄仁坤)、直方教会(宗広一美)、東八幡教会(教会、藤田英彦、

藤田信子)、豊前教会(佐々木信生、加治智佳子、加治信)、門司港教会(教会、青柳禮子、大谷淑美、竹田正歳、田中綜二)、若松教会(教会、中村 熙、中村眞理子)

〔西九州地方連合〕

嬉野教会(中島淳子) 大村古賀島教会(教会、下田雄二、計屋紘信)、鹿島教会、五島教会、佐賀新生教会(教会、森田純子)、佐世保教会、霊水教会、多良見教会、長崎教会(教会、春海賢一、山口カズ子)

〔南九州地方連合〕

天草中央教会(教会、南 圭生、南 蘭子、宮川英憲、SUZUKI LILY KIM IYE、平畑淑子、松本泰博、張 鳳基、堀川志摩子)、有明教会(教会、田中文人)、伊集院教会(教会、麦野 賦、麦野節子、五反田靖子、酒匂まゆみ、美園和彦、美園実保、美園寛人)、大牟田教会(谷山雅子)、大牟田フレンドシップ教会、鹿児島教会(教会、釘宮美代子、齋藤智恵子、瀧下郁男、藤村さつみ、高木伸江、萬福政三)、菊池シオン教会(教会、濱川耕一)、菊池シオン教会(羊の群れ伝道所、熊本愛泉教会(壮年会、

山城秀子)、熊本愛泉教会 八代伝道所(伝道所、桑原伸良、桑原百合子、草野和子、草野法)、熊本南教会、国分教会(教会、修行ヒデ子、立山泰士、永野晴美) 児湯教会(曾根基雄、曾根良子、阿萬みほ)、東熊本教会 豊岡伝道所、人吉教会、宮崎教会(女性会、柏木利光、柏木悦子、黒水斐子、久林基子)、宮崎教会(青島伝道所(伝道所、横尾由美子)、山鹿新生教会

〔福岡地方連合〕

彦岐教会(教会、飛永永子)、宇美教会(教会、二本 正、松下靖子、渡辺しのぶ)、春日原教会(教会、壮年会、栗田昌直、河野秀美、末松隆夫、八幡正弘、前坂昌広、田中晶矩)、香住ヶ丘教会(教会、堀内 明、齊藤純一)、粕屋教会(教会、壇弘子、柳田賢吾、高地京子)、かたえ教会(手塚貞夫、手塚敬子、松尾順子、河口良子)、久留米荒木教会(教会、諸隈秀臣)、久留米教会(教会、中島乃婦子) 古賀教会(教会、泉 清隆、内山賢次、木村憲子、只松英男、草場久子、八島博子)、西戸崎教会(弦巻温子)、篠栗教会(山口正夫)、早良教会(今村まさる、朱 承圭)、西南学院教会(教会、踊 一郎、三

室日朗)、田隈教会、筑紫野二日市教会、筑紫野二日市教会・福岡南伝道所(柴田公文)、筑紫野南教会(教会、野下順子、匿名)、鳥栖教会(野中宏樹 三木洋子)、鳥飼教会、那珂川教会、長住教会(岡部永玲子、小林洋一、中條譲治)、博多教会(壮年会)、東福岡教会(松見俊)、平尾教会(教会、甲斐悦江、才藤千津子、肘井利美)、福岡有田教会、福岡教会(江副史子、古池節子)、福岡国際教会(教会、木村公一)、福岡城西教会(教会、安藤徳子、宮井武憲)、福岡聖書教会(吉江かおり)、福岡西部教会(教会、池田 和、大杉知佳、清原和子、田中敦子、田中幸男、堤 秀幸、山田かおり、山田俊介)、福岡ベタニヤ村教会(教会、高良研一、中村利次)、福岡教会(教会、宮崎信義)、姪浜教会(吉田律子)、和白教会(教会、岩切裕子、清水谷真也、樋口隆利、樋口栄子、山根めぐみ、横山正治、樺島瑞代)

〔日本バプテスト連盟外の教会〕

大分めぐみキリスト教会(岡山敦彦)、沖繩ミッシェンチャーチ(中村加代子)、金武バプテスト教会、霧島キリスト教兄弟団(山田良子)、小

倉台キリスト教会(木村勝四郎)、札幌宮の森教会(山本光)、ジョイホープチャペル(松浦嘉信)、カトリック大名町教会(住永 実)、筑紫聖書キリスト教会(岩橋隆二)、長崎インターナショナル教会(柚之原かおり)、なごみグレースチャーチ(竹下由美子)、日本基督教団 筑紫教会(田畑いつ子)、日本基督教団 若松浜ノ町教会、博多ニューライフ教会(南里孝子)

〔事務局より〕

※報告中、献金者のお名前のみで敬称を略させて頂いております。また、日本バプテスト連盟内各教会名につきましては、紙面の都合上「キリスト」「バプテスト」を割愛させて頂いております。毎月支援金をお送りくださる方々につきましても、回数を表示を割愛させて頂いております。九州バプテスト神学校へ直接ご送金頂きました献金につきましても、合わせてここに報告させて頂いております。

九州バプテスト神学校 後援会事務局

2021年度 新入生紹介

「 」内はご本人の思いです。



(北九州キリスト教会) 専攻科
西野 修平

神に仕え、人に寄り添う者へとされていきたいです。



(天草中央キリスト教会) 専攻科
松本 泰博

時が良くて悪くても、主のみ言葉に従える者でありたい。



(久留米荒木キリスト教会) 専攻科
諸隈 秀臣

教会員の方の心と眼差しは、教会形成に主の御心を感じます。キリストの愛の成就と心の平和を願いながら。



(熊本南キリスト教会) 本科
大森 俊明

主と隣人と共に歩み、愛と義を求めて行きます。



(福岡西部バプテスト教会) 本科
田中 敦子

聖書を深く多面的に学ぶ！あなたもぜひ受講を!!



(大分キリスト教会) 専攻科
武宮 陽子

主を待ち望め、雄々しくあれ、心を強くせよ。主を待ち望め。詩編27編14節

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金筆を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証等必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。



犬塚 小百合
(粕屋バプテスト教会) 聴講

学びを主に感謝します。
よろしくお祈りします。



今村 恵
(粕屋バプテスト教会) 聴講

粕屋バプテスト教会に支えられ、学べる事を感謝します！



須崎 香織
(日本基督教団 用瀬教会) 聴講

福音宣教の器として用いられるために励みます。



朴 鍾官
(福岡ビジョン教会) 聴講

唯一の神様を讃美します。一緒に礼拝して福音を伝えたいです。

編集後記

▼新型コロナ感染拡大のため、二〇年度の今頃は、講義を講師の自宅録画したものを受講者に送信していただきました。神学校始まって以来のことでした。スクーリングを始めとして、神学校行事がことごとく短縮プログラムや中止となりました。二年度は、昨年度の経験を生かして神学校を盛り上げたいと思っている今日この頃です。
(M・M)

▼コロナウイルス感染の只中ではありますが、「はたらき人」を発行できましたことを感謝します。お互いに気を付け合いながら、主にある業を祈りつつ推し進めて行きたい願っています。
(K・J)

▼今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染が収まらない中での授業ですが、その中にもあっても研ぎ澄まされた気持ちで、み言葉の出来事が教会で起こって行くことを願いながら共に学んでゆきたいと思っています。
(A・H)

払込取扱票

00	口座記号		口座番号		金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	0	1	7	3	0	5			2	1	8	4	8
加入者名	九州バプテスト神学校後援会												
金額	後援会費 = 円(個人・団体) □) *20 年度分												
備考	自由献金 = 円 領収書 (・要 ・不要)												
通信欄	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>												
依頼人	お名前 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>												
	在籍 (<input type="text"/>) 教会・伝道所 (<input type="text"/>)												
	(ご連絡先電話番号) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>												
日付	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>												
印	<input type="text"/>												

各票の※印欄は、ご依頼人様において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

郵便払込請求書兼受領証

口座記号	0	1	7	3	0	5
口座番号						
金額						
加入者名	九州バプテスト神学校後援会					
金額	後援会費 = 円(個人・団体) □) *20 年度分					
備考	自由献金 = 円 領収書 (・要 ・不要)					
依頼人	お名前 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
	在籍 (<input type="text"/>) 教会・伝道所 (<input type="text"/>)					
	(ご連絡先電話番号) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
日付	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
印	<input type="text"/>					

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。